

まつり委員長方針

勝岡 秀樹

委員会日：毎月15日前後

＝委員会メンバー＝

副委員長：市川 裕也 堀 雄貴

運営幹事：加藤 政太郎

会計幹事：吉村 文善

委員：小椋 春樹 瀬戸 良贈 鷹見 創 名城 仁志

<委員長方針>

私にとって「おいでん祭」は幼い頃から中津川の夏まつりでありました。風流おどり、太鼓の競演、みこしなどを披露する人の勇壮な姿や、商店街に立ち並ぶ出店などの独特な雰囲気により、胸がおどるような高揚感を持ち、参加してみたいという気持ちを持った事を今でも思い出します。しかし現在の「おいでん祭」は、市民にとって見るまつりと捉えている人が多いのではないのでしょうか。「おいでん祭」を見るだけでなく、参加する事で改めてふるさとのまつりと感じ、語り継がれるまつりとしていくためにも、未来を見据えた市民参加型のまつりを目指し、行動していく事が重要と考えます。

市民参加型の「おいでん祭」を永続的に開催していくためには、市民が楽しみながら参加できるまつりでなければなりません。そのために我々メンバーは、“誰の心にも繋がるふるさとのまつり”を改めて考え、語り伝える知識や経験を持つ事が必要です。また、多くの市民に「おいでん祭」をふるさとのまつりとしていただくために、楽しみながら本まつりに参加できる機会を提供し、参加して成し遂げた達成感や優越感を感じていただく事で、「おいでん祭」への参加意識や魅力を発信できる人づくりへと繋がると考えます。「おいでん祭」が“誰の心にも繋がるふるさとのまつり”として、10年・20年後も中津川の夏の風物詩としてより輝き続けるために、我々は先輩諸兄に負けない情熱を持って取り組んで参ります。

我々はJAYCEEとして、相互協力を得るためには人に自分の想いを伝え納得していただく事が必要不可欠です。そのために、メンバーには3分間で自分自身の想いを伝える能力の向上、相手の想いを理解する能力の向上を目的として、3分間スピーチを開催させていただきます。

本年度まつり委員会は「楽しむ」をテーマに、「楽しむ」ためには真剣に委員会メンバー全員で何事にも立ち向かう。そんな運営を心掛け、一丸となって活動して参ります。その

ために私は委員長として、何事においても試練を成長の機会と捉え、率先して行動して参ります。また、委員会の垣根を越えて、まつり委員会がLOMを牽引する気概を持って1年間活動して参ります。

<事業計画>

- ・中津川夏まつり「おいでん祭」の推進
- ・中津川夏まつり「おいでん祭」の開催
- ・3分間スピーチの開催

<事業予算>

- ・150,000円
- ・0円
- ・1,500円